

八戸地域保健医療圏

1. 圏域の現状

八戸地域保健医療圏の位置



【地勢等】

当地域は、青森県の東南部に位置し、八戸市を中心とした太平洋に面した平坦な地帯と岩手県境に面した山間地帯からなっています。

気象は、降雪量が非常に少なく日照時間が長いこと、また春から夏にかけてオホーツク高気圧による冷涼な偏西風（ヤマセ）が吹き込みやすい地域となっていることが特徴です。

自然景観としては、種差海岸、階上岳県立自然公園を擁するとともに、ウミネコの繁殖地である蕪島は国の天然記念物に指定されています。

構成市町村	八戸市 おいらせ町 三戸町 五戸町 田子町 南部町 階上町 新郷村						
人口	320,401人			面積	1,346.83km ²		
年齢3区分別人口	0-14歳	38,308人	(12.0%)	医療提供施設 (人口10万対)	施設数	病院 27 (8.4)	
	15-64歳	188,843人	(58.9%)		診療所	202 (63.0)	
	65歳-	93,250人	(29.1%)		歯科診療所	129 (40.3)	
人口密度	237.9人/km ²			病床数	一般病床	3,025床 (944.1床)	
世帯数	126,912世帯				療養病床	554床 (172.9床)	
1世帯当たり人口	2.5人				精神病床	1,387床 (432.9床)	
人口動態	出生率 (人口千対)	7.2		医療従事者 (人口10万対)	医師	587人 (183.0)	
	死亡率 (人口千対)	12.4			歯科医師	176人 (54.9)	
	乳児死亡率 (出生千対)	0.4			薬剤師	446人 (150.5)	
	死産率 (出産千対)	0.4			看護師	3,356人 (1,017.0)	
医療完結率	入院	96.78%		准看護師	1,219人 (369.4)		
	外来	97.57%		平均在院日数	一般病床	18.2日	
病床利用率	一般病床	73.1%		療養病床	182.3日		
	療養病床	89.3%					

2. 圏域において重点的に取り組む事項

(1) がん死亡率の低下に向けた取組

がん検診の個別受診勧奨等により、検診受診率の向上を図ります。特に検診未受診者及びがん死亡者の背景分析を行うとともに、受診勧奨により初回受診者の増加を図ります。さらに、精密検査未受診者の把握及び受診勧奨を行い、精密検査受診率向上に向けた取組を推進します。あわせて、がんの予防のために喫煙対策に取り組めます。

【背景】

八戸圏域のがん検診受診率は、全国を大きく上回っているにも関わらず、がん死亡率が高い状況です。その原因としては、検診未受診者及び精密検査未受診者の中から死亡者が出ている可能性が考えられます。

がん死亡率 (人口10万対)

	H25	H26	H27
八戸圏域	331.0	348.3	333.6
青森県	369.7	379.5	385.9
全国	290.3	293.5	295.5

出典：青森県保健統計年報、人口動態統計

喫煙率 (%)

	H22			H25		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
青森県	24.7	38.6	12.7	25.9	40.3	14.3
全国	21.2	33.1	10.4	21.6	33.7	10.7

出典：国民生活基礎調査

妊婦同居者の喫煙率 (%)

	H25	H26	H27
八戸圏域	48.1	46.4	43.2
青森県	49.1	47.3	43.5

出典：妊婦連絡票

がん検診受診率 (%)

	胃がん			大腸がん			肺がん		
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
八戸市	26.2	20.4	21.5	30.9	24.4	25.8	30.0	23.5	24.6
おいらせ町	23.1	28.5	30.2	29.8	36.6	39.7	26.4	30.9	33.6
三戸町	10.2	15.1	14.4	15.0	28.9	27.4	8.0	28.5	25.4
五戸町	11.9	13.3	14.4	13.5	14.8	17.0	12.4	13.3	15.0
田子町	24.5	21.1	25.2	34.7	30.1	33.9	54.9	46.6	48.6
南部町	21.6	26.9	26.7	32.6	39.3	39.3	43.3	48.4	48.5
階上町	18.6	23.5	25.3	20.9	28.0	28.5	18.8	27.3	27.9
新郷村	16.6	16.3	17.0	18.2	18.9	20.1	17.1	20.2	37.2
青森県	22.0	22.2	22.5	29.3	29.6	30.4	22.7	23.4	24.1
全国	9.0	9.6	9.3	18.7	19.0	19.2	17.3	16.0	16.1

出典：地域保健・健康増進事業報告

がん検診精密検査受診率 (%)

	胃がん			大腸がん			肺がん		
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
八戸市	82.7	81.1	80.1	73.6	74.2	76.7	92.3	89.7	88.9
おいらせ町	85.5	89.3	92.3	91.5	87.6	88.6	98.0	95.8	96.2
三戸町	91.7	97.3	79.2	75.0	80.8	83.9	80.0	100.0	77.8
五戸町	86.7	89.5	77.6	77.5	81.6	73.7	80.6	75.0	87.5
田子町	89.6	95.5	85.7	70.6	80.0	76.2	81.8	50.0	91.7
南部町	84.0	80.2	74.5	70.1	68.1	72.4	88.8	78.7	78.9
階上町	80.4	83.7	76.5	72.1	64.8	59.8	95.0	66.7	90.0
新郷村	78.6	76.2	73.3	68.0	77.8	71.4	100.0	87.5	100.0
青森県	77.4	79.6	79.6	68.5	74.2	77.0	85.0	85.3	85.0
全国	80.9	80.7	80.9	65.9	67.4	68.3	79.1	79.2	80.3

出典：がん・生活習慣病対策課資料

【これまでの取組及びその成果】

これまでは、がん検診受診の必要性について普及啓発してきました。その他、がんに影響を与える喫煙に関して、喫煙対策推進事業～応援します！あなたのスモークフリー宣言～（平成26～28年度）において、職場の受動喫煙防止対策研修会やたばこ健康に関する研修会を開催し、禁煙及び受動喫煙防止対策を推進してきましたが、喫煙率及びがん死亡率は依然として高い状況です。

【目標】

がん検診初回受診者の増加を図り、圏域のがん検診受診率50%以上を目指します。
また、精密検査受診率90%以上を目指します。
がんの予防のために、受動喫煙防止対策実施施設の増加を目指します。

(2) 大規模災害時に向けた連携体制の構築

大規模災害時に円滑な保健医療活動が実施できるように、関係者間の連携体制を構築します。

【背景】

平成23年の東日本大震災や平成28年の熊本地震での対応の教訓として、大規模災害時に円滑な保健医療活動を実施するためには、県、市町村、医療機関、消防、警察等との連携が必要であること、保健医療チームや現地医療機関の状況といった医療資源等の把握とその活動の総合調整が必要であることなどが挙げられています。

【これまでの取組及びその成果】

平成26年度に八戸地域災害医療対策協議会を組織し、これまで2回の協議会を開催し、地域の災害時の医療連携体制等について協議を行ってきました。

開催日：平成27年3月11日、平成29年8月30日

【目標】

大規模災害時に円滑な医療活動を進めることができるよう、関係機関同士の顔の見える関係性を構築します。

また、広域災害救急医療情報システム（EMIS）を有効活用し、大規模災害時の地域における患者動向や医療資源の状況等について情報収集できる体制を構築します。